

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDGsコンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

株式会社九州バイオテック
有働隆司氏

代表取締役

取引店／熊本銀行 大牟田支店

木材資源の有効活用を通じ、
社会・時代・世界の要請に応える企業として、持続可能な社会の実現を目指す

木造建築物の解体材や
伐採木をウッドチップに加工

当社は福岡県大牟田市を拠点に、木質系専門の産業廃棄物処理事業を営んでいます。ここ大牟田市内はもとより福岡県内、また九州内の近隣県から、木造建築物の解体材や、造成工事等に伴う伐採木、時には災害などに伴って廃棄される木質材を自治体の要請により受け入れ、分別しながらウッドチップに細かく粉砕処理し、その

ほとんどを当社が近隣の企業と共同で運営している木質バイオマス発電所に、燃料として提供しています。また、九州各地のプレカット工場や製材所から端材を受け入れ、選別・加工した後に販売・輸出も行っています。当社は2010年に父・有働憲輔が設立し、2022年に父の後継として長男の私が代表取締役に、次男の有働博司が専務取締役に、三男の有働将司が統括工場長に就任し、兄弟3人が中心となって当社を営んでいます。

古紙回収会社から
原料の木に着目し独立

当社の前身は1979年、私の祖父である有働義弘が大牟田市内で設立した古紙回収業の「有働会社有働資源」です。有働資源の設立以降、日本の経済成長とともに事業は拡大を続けて



対談の様子(左から有働隆司社長、吉田前支店長(熊本銀行、現 鏡支店長))



粉碎破砕機とショベルカー。粉碎破砕機は十数台保有する

いましたが、近年のIT化やペーパーレス化が進んだ影響で、国内の紙の使用量は2008年をピークに減少し始めていました。同社の専務であった私の父・憲輔は、紙の原料である木に着目し、木質系の廃棄物の処理、バイオマス燃料・畜産敷料の製造販売を目的として、2010年に当社を設立したのです。設立以降、ドイツのメー

資源の地域循環に寄与

カー製の粉碎破砕機を十数台、磁力選別機等の大型機械類を導入し、敷地とともに規模を拡大しており、現在では年間で約75,000トン分の木質材を処理し、約60,000トン分のウッドチップを製造しています。

当社の事業は、回収や持ち込まれた木質系廃棄物をウッドチップ化し、木質バイオマス発電所の燃料として利用される他、粉碎処理時に排出される釘やボルトなどの金属類も専門業者に渡すなど、余すところなく資源化しており、地域を循環していることが特徴です。粉碎処理の際にどうしても舞ってしまう木の粉は、溜めておいた雨水をシャワーのように撒くことで近隣に迷惑を掛けないようにしています。今後は粉碎処理機を電動化するなどして、さらなる省電力化や騒音防止に役立てる予定です。

近隣の企業で共同運営する バイオマス発電所

大牟田市に隣接する熊本県荒尾市の荒尾産業団地内に、地域企業と共同で運営する木質



共同運営する荒尾バイオマス発電所

バイオマス発電所「荒尾バイオマス発電所」「荒尾第二バイオマス発電所」があります。当社が生産したウッドチップは、この発電所に1日16回大型トラックで持ち込まれ、2基の発電用タービンの動力源として燃焼されています。この発電所から年間約8,800キロワット、一般家庭の約24,000世帯分相当の発電を行い、全量を

外部に売電しています。当社は近隣の企業と協力して、ここ大牟田近郊で生まれ育った森林資源をクリーンな電気エネルギーに変え、電気を販売し、山に新たな雇用と収益を生む仕組みを作ること、地域を活性化させる取り組みを実践しています。

SSI indexの受検と 〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ ファイナンスの利用

2022年8月に熊本銀行大牟田支店から、Sustainable Scale Indexと〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンスの提案を受けました。当社は前述のとおり、回収した木質系廃棄物を余すことなくリサイクルする事業を核にしていることから、サステナビリティの取り組みには自負があります。ただそうした取り組みを外部に公表して認知してもらうところまでは進んでいなかったため、両サービスともに受けてみることにしたのです。

〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンスでは9項目ものKPIを設定しましたが、うち1項目は災害時の自治体との連携協定締結に関するものです。2024年1月に能登地方を襲った

地震や、その後の水害によつて多くのがれきが発生し、そのがれきの処理が進まないことが復旧・復興を阻害する要因ともなっています。そうしたがれきの受け入れを行うための協定であり、当社だけの行動だけでは実現は困難であることから、熊本銀行や、ふくおかフィナンシャルグループの協力を得ながら、KPI達成に向けて全力で取り組む方針です。

当社の事業はすべて、木材のリサイクルという環境面での取り組みにつながっていますが、社会面、つまり社員の健康促進、労働安全、働きやすい職場づくり等にも積極的に取り組んでいます。こうした取り組みを今後も継続し、持続可能な社会の実現につなげたいと考えています。



3兄弟で事業を運営(左から有働将司統括工場長、有働隆司社長、有働博司専務)



〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行の証、記念楯を贈呈（左から有働隆司社長、吉田前支店長）

株式会社 九州バイオテック

- 本社所在地：〒836-0067 福岡県大牟田市四山町14-5
- 電話番号：0944-59-6622
- 事業内容：バイオマス発電向け燃料チップ製造、堆肥原料加工、プレカット端材・製材端材等の集荷および海外向け輸出加工
- グループ企業：株式会社有明グリーンエネルギー、株式会社ウッドフィールド



FFG公式YouTubeチャンネルでは同社の有働隆司社長にインタビューしています。こちらをご覧ください。



FFGでは企業のESG／SDGsの取り組みを支援しています

FFG公式
チャンネルはこちら



ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 サステナビリティ推進企画グループ
■お問い合わせ：TEL.092-723-2512

サステナビリティに
関することは
何でもご相談ください